

# 安住できるまちづくりをすすめよう

## 草の根から発信しつづけて

### 「とも」創刊30周年を祝して



第2代会長  
和田 昭穂

私は、友の会創立来の初代前田会長の後を受けて、創立20周年を迎える直前に会長職を務めさせて貰いました。先代前田会長が「耳原の前倒産」の大危機を会員・市民そして全国医連の仲間たちと共に乗り越えた直後の頃でした。

創立20周年のイベントや会員3万世帯への到達目標を設定したことも、会の活気を取り戻すための飛躍台として位置づけたことが記憶に残っています。

しかし、またもや訪れてきた「セラチア菌の院内感染」事故、この不運を幸運に転ずるための厳しい議論が夜を徹して行われました。

その取り組みの努力が当時の厚生省にも通じ、耳原の信義と正義と謙虚さが信頼回復へと、大きく広がっていききました。

そして今、待望の新病院建設も具体的に進んでいるようです。みんなの「耳原」がいよいよ泉州・和歌山も含めた地域医療の要石として益々発展されることを心からご期待申し上げ全ての会員の皆様方が「いつでも元気」でご活躍されることを祈念申し上げます。  
(奄美市在住)



第3代会長  
穴井 重徳

前倒産のときは副会長として、他団体への説明など対応に追われました。

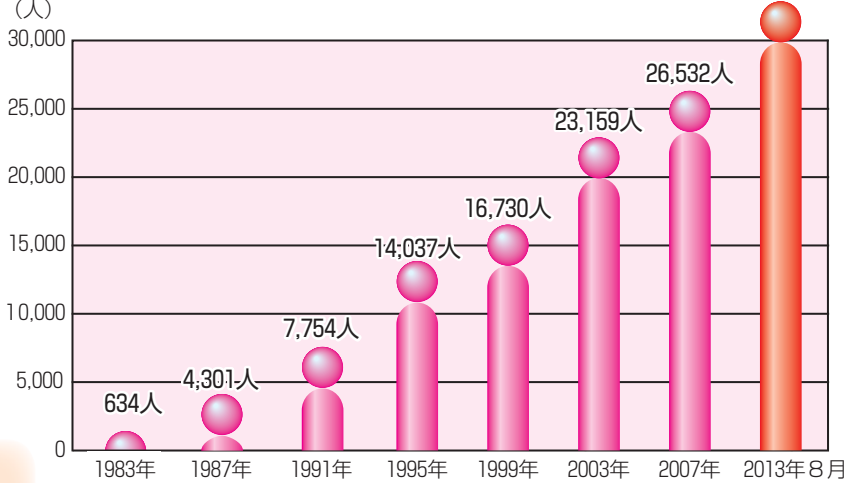
大変な事態でしたがこれをひとつのきっかけとして、配食サービスなど地域目線の運動が、担い手さんもやりがいを感じ楽しみながら参加できる形の運動としてすすんでいっています。上からつづけるのでは

### 視野を広く共同の観点で

なく、みんなが自主的自覚的に集まりいろいろ工夫を重ねていくことが大切だと思います。

建て替えが現実になり、対外的にも影響力が広がる契機となるでしょう。大切なことは、これまでにない別の角度から組織づくりをすすめることです。病院内部や友の会内部にとらわれると疲弊してしまいがちです。地域における長い運動の中のひとつの分野を担うという自覚で、もっと視野を大きく持ち、これまでになかったような地域での共同の広がりや深まりを、健康づくりまちづくりの観点で作っていくことが求められると考えます。

友の会みみはらの会員数



歴代の友の会会長に、当時の思い出や「とも」への期待を語っていただきます。



初代会長  
前田増造 さんのこと

### 内に秘めたる情熱家

私が前田会長と親しくさせていただいたのは友の会代表で理事会に出席する様になってからです。あの辛かった前倒産問題がおきた時も「落ち着きましょう、そして今、何をすべきか考えましょう」

また人の心を上手にとらえる話し方をされる人で「どうすればそんな話し方が出来るのですか？」と聞いたところ「心です。自分の心に忠実に、誠意をもち話すこと、そして場数を踏むことです」と笑っておられたことを今でも鮮明に覚えています。

こんな形で友の会活動のいろんなことを教えていただいたことが、今の私の会活動の原点になっています。もの静かな笑顔のうちに秘めたる情熱は私なんか足元にもおよびません。

ふくいすみ支部 江戸道子



第4代会長 (現会長)  
森島 嘉之

### これからも親しまれる「とも」をめざし

機関紙「とも」発刊30周年を、新病院建設着工の年に迎えたことを嬉しく思います。「耳原友の会」から「健康友の会みみはら」に名称を変更したのは、友の会設立20周年のことで、病院の応援団からパートナーへと脱皮をはかってきました。「とも」の手配り率の向上はめざましく、班活動も多様化して会員相互の結びつきが深まっています。健康づくり・まちづくりに向けたタウンウォッチングの取り組みは、行政を動かす改善させる成果も生み出しています。地域のたまり場の開設も進み、専従職員の配置で支部の分割や活動が大きく前進しました。

こつこつ多岐にわたる活動を生き生きと伝える「とも」が、さらに読み易い親しまれるものに成長することを期待します。

### 私と「とも」 創刊30周年おめでとう



岡本 浜代

「とも」とともに30年

西区鳳東町

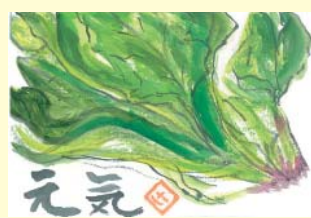
墨 光子 (54歳)

「とも」創刊30周年おめでとうございませう。コソコソと活動され現会員数3万を超え、すばらしいですね。私自身も何と堺で暮らし始めて30年同じだけ時が流れたわけです。この間3人の子どもを総合病院で出産。その長男が今年結婚することになり、とても嬉しい記念の年となりました。子どもたちの成長、年を重ねていく両親そして自分たち。クイズをときながら、そのときの我が家の事をコメントし掲載して頂きました。「とも」を配達されている方に感謝しつつ、毎号楽しみにしています。今はまだ仕事にかまけていますが、そのうちにバスツアーなどに参加して、自分の姿が写真に写ってたら良いなあ〜と楽しみにしています。その時を楽しみに…。あと10年20年皆さんとともに。

平石 米子



平石 米子



笹野 恵子

楽しい紙面を

堺区山本町

野口 三幸 (54歳)

「とも」は毎月楽しく読ませていただいております。9月に創刊30周年を迎えられるとのこと。これからも楽しい紙面を期待しています。



中野 キヨ子